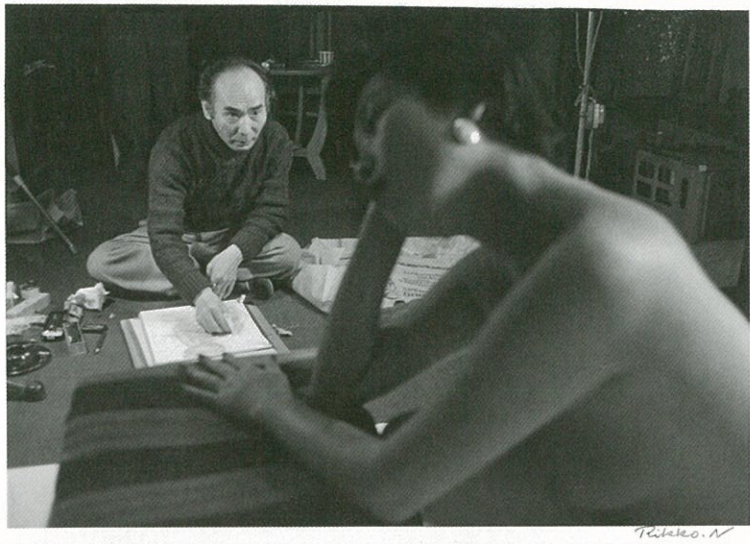


世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 電話:03-5483-3836 開館時間:午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで) 休館日:毎週月曜日(ただし祝休日の場合は開館、翌日休館)、5月6日(木)は休館 観覧料:一般200円(160円)、大・高生150円(120円)、中・小生、65歳以上、障害者の方(一般)100円(80円) ※()内は20名以上の団体料金。中・小生は土日・祝休日、夏休み期間は無料。障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名に付き、1名に限る)は無料。
交通:東急大井町線・東横線「自由が丘」駅(徒歩7分)、東急大井町線「九品仏」駅(徒歩8分)、東急目黒線「奥沢」駅(徒歩8分)
www.miyamotosaburo-annex.jp

ドキュメント 素描する宮本三郎

1950's 写真家・中村立行による
2010年4月1日(木)~7月25日(日)



《描く宮本三郎》1954年(撮影:中村立行、個人蔵)

ドキュメント 素描する宮本三郎 1950's 写真家・中村立行による



《(老人)》1955年
※()は作品名不詳につき仮題



《裸婦》1954年

本展では、洋画家・宮本三郎(1905[明治38]年-1974[昭和49]年)が多様な人物表現を追求した作品とともに、その制作風景を撮影した中村立行(1912[大正元]年-1995[平成7]年)の写真を併せてご紹介します。

1950年代、宮本はアトリエの中だけでは捉えきれない、より「生きた人間像」を求めて、様々な生活環境に足繁く通い、素描を試みました。その様子は、美術雑誌『アトリエ』1956年1月号で、「素描による人間追求」と題し特集され、そこでは、その現場を撮影した中村立行の写真も掲載されました。

中村立行は、写真による造形的なスード表現を目指す一方、雑誌『アトリエ』での宮本をはじめ、林武や三岸節子など、同時代の洋画家たちのアトリエを撮影しており、それらは制作中の画家を間近でとらえた、貴重なドキュメントとなっています。

楽屋のダンサーや、施設で日々を送る老人、路上で働く人々。宮本が様々な人々を凝視し、素描という実践を重ねた成果は、その後1960年代の油彩による《浅草の踊り子》シリーズへと展開しました。

画家がモチーフを見出す瞬間。その鋭い眼差しを克明に撮影した記録写真とともに、宮本三郎の制作の現場と、その軌跡を辿りたいと思います。

※表面・裏面の写真はすべて中村立行撮影(個人蔵)



《楽屋の人たち》1966年



《画室の裸婦》1954年

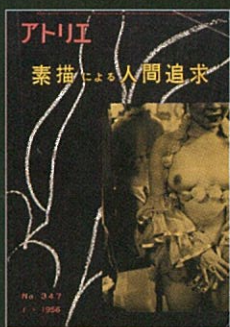
2010年4月1日(木)→7月25日(日)

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836

■交通／東急大井町線・東横線「自由が丘」駅(徒歩7分)、
東急大井町線「九品仏」駅(徒歩8分)、東急目黒線「奥沢」駅(徒歩8分)

www.miyamotosaburo-annex.jp



『アトリエ』No.347
1956年1月号表紙
(特集「素描による人間追求」)

本館情報 世田谷美術館

(詳細は、ホームページなどでご確認ください。)

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
電話03-3415-6011(代) ハローダイヤル03-5777-8600
www.setagayaartmuseum.or.jp

■企画展

「川上澄生:木版画の世界ー栃木県立美術館所蔵による」3月13日(土)～5月9日(日)

「フェリックス・ティオリエ写真展

ーいま蘇る19世紀末ビクトリアリズムの写真家ー」5月22日(土)～7月25日(日)

■収蔵品展

「平成21年度第3期収蔵品展 第I部 麻生三郎と世田谷の作家たち
1月5日(火)～4月9日(金) 第II部 村山知義関係資料 内田昇三コレクション」

「平成22年度第1期収蔵品展 アトリエの時間ー建昌覚造 模型とデッサン」
4月16日(金)～9月5日(日)

分館情報



向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区成城2-5-1 電話03-5450-9581
www.mukaijunkichi-annex.jp

「向井潤吉と民家」4月27日(火)再開
4月27日(火)～7月25日(日)

◀「武蔵野の丘」1974年

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 電話03-3416-1202
www.kiyokawataiji-annex.jp

「清川泰次と1950-60年代のアメリカ」
4月1日(木)～7月25日(日)

◀「アブストラクト・イン・シカゴ」1954年

